

使用済燃料再処理・廃炉推進機構 第90回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 2026 年 2 月 19 日（木）9:00～12:00
- 2 開催場所 使用済燃料再処理・廃炉推進機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介（委員長）、山口彰（委員長代理）、秋池玲子、井口哲夫、
小澤俊朗、織朱實、梶川融、斉藤拓巳、佐久間総一郎、采田正之
出席理事 増田博武（理事長）、鍋田真孝（副理事長）、板垣雄士、出光一哉、
胡居宏明、河合雅彦、平畠暁、水田仁

4 議事の経過及び結果

（１）運営委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は18名であった。定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているので、本運営委員会が成立することを確認した。

（２）議案審議及び自由討議

【報告事項】

a. 主な業務の執行状況について

理事長から、主な業務の執行状況について報告を受けた。

<添付資料>

[「主な業務の執行状況」](#)

b. 原子炉本体解体のパイロットプロジェクトの実施事項について

事務局から、原子炉本体解体のパイロットプロジェクトの実施事項について報告を受け、自由討議を行った。委員から、プロジェクトの情報公開について検討するよう意見があったため、事務局として対応する旨回答した。

c. 再処理事業等の事業費精査について

事務局から、日本原燃からの事業費提案等に関する「[事業費精査に係る基本方針](#)」を踏まえた精査状況について報告を受けた。委員から、施設・設備面の対応の他に、しゅん工後の安定操業に向けた対応状況に関し質問があり、事務局から、将来の安定操業に向けた研究開発等も織り込み済みである旨を回答した。

引き続き事務局において同方針および討議内容を踏まえて精査作業を進めることとした。

d. その他

事務局から、使用済燃料再処理等実施中期計画（案）、2026 事業年度事業計画（案）、2026 事業年度予算（案）、2026 年度余裕金運用計画（案）について、検討状況に関する報告を受け、自由討議を行った。委員から、しゅん工後の不測の事態や様々なリスクへの対応、運転保守業務の確立も踏まえつつ、事業費の合理化について、関係者で協議して進めてほしいとの意見があった。

(3) その他

委員長は、議事概要に記名押印する者として、委員長の他、山口委員長代理及び増田理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理・廃炉推進機構

運営委員会

委員長	近藤 駿介	印
-----	-------	---

委員長代理	山口 彰	印
-------	------	---

理事長	増田 博武	印
-----	-------	---

以 上